

ストップ！戦争法案 9・12 岩手県民集会挨拶

県内各地から参加された皆さん。ご苦労様です。日本共産党の県議会議員、斉藤信です。戦争法案を必ず廃案に追い込むために、最後までともにたたかう決意を表明します。

国会の審議は大詰めを迎えていますが、3 カ月余の論戦と国民のたたかいは通じて、三つのことがはっきりしました。

第一は、戦争法案が憲法違反だということです。「戦闘地域」での兵站、戦乱が続いている地域での治安活動、米艦防護のための武器使用、そして集団的自衛権—そのどれもが憲法を破壊する海外の武力行使そのものです。

圧倒的多数の憲法学者、元内閣法制局長官に続いて、最高裁長官を務めた山口さんも、憲法違反と断じました。以下に安倍政権が国会で多数を持っていたとしても、憲法違反の法案を強行することは許されません。

第二に、安倍政権がついに国民の理解を得ることができなかったということです。

青年学生が立ち上がり、各階層の国民が史上空前の規模で立ち上がっています。孤立しているのは安倍内閣です。

自民党の高村副総裁は、「国民の理解が得られなくても成立させる」と言い放ちました。許しがたい究極の居直り発言です。同時に、これは与党の“敗北宣言 ‘ではないでしょうか。民主主義を破壊する独裁政治を断固として拒否しようではありませんか。

第三は、自衛隊の暴走という問題です。

自衛隊の河野統幕長が、昨年 12 月に訪米し、米軍幹部と会談し、戦争法案は「来年夏までには終了する」と約束していました。統合幕僚幹部は、日米共同作戦計画を作成していました。

憲法破壊、民主主義破壊、「軍の暴走」—もはや、道理はひとかけらもありません。戦争法案を廃案に追い込み、安倍政権を打倒しましょう。平和と民主主義を守る新しい政治をみんなの力で作りましょう。